

## も く じ

◆はじめに .....	P 1
◆報告書の発行に寄せて ～ゴールドマン・サックス証券株式会社からのメッセージ～ .....	P 3
第1章 「アウトリーチ・プロジェクト」について ～目的、内容、成果、課題～ .....	P 7
第2章 退所生へのアンケート調査について .....	P 19
第3章 退所生および施設へのヒヤリング調査について .....	P 47
第4章 児童養護施設退所生のアフターケアを考える .....	P 79
◆まとめにかえて .....	P 82

### 参 考 資 料

【資料1】プロジェクト関連書類 .....	P 87
【資料2】退所生アンケート調査単純集計 .....	P101
【資料3】退所生や施設からの手紙 .....	P147
【資料4】施設が考える「今後必要な社会的支援」 .....	P 14



## はじめに

東京ボランティア・市民活動センターとグローバルな金融機関であるゴールドマン・サックス（以下、GS社）は2011年から、東京都の児童福祉施設の子どもたちが4年生大学に進学することを支援するプロジェクトを実施してきました。

当時、児童養護施設にボランティアに行ったGS社の役員・社員の方々が知ったのは、施設の子どもたちが経済的理由により大学進学をあきらめていること。また、進学してもバイトに追われ、授業やサークルには出られず、孤立化し、中退することが多いという事実でした。

そこで、GS社と本センターが協働し、大学4年間の授業料全額と毎月の生活費などを給付する大型の奨学金を創設しました。さらに、子どもたちを精神的に支えるために、本事業のケースワーカーと施設職員が毎月子どもたちと面談しながら伴走し、本センター所長も入った職員チームで本事業を運営しています。

この進学プロジェクトについては、行政や大学、助成団体からも問い合わせが多くあり、その後、各種奨学金が誕生しています。そして、今年の春からは国の給付型奨学金がスタートしました。

そんな折、児童福祉施設から「新型コロナウイルスで退所生たちの仕事やバイトがなくなり、生活に困っている」という連絡が入ってきました。退所生の孤立化も心配でした。ちょうど、その時に、GS社から「コロナ禍の児童福祉施設の子どもたちに対して何かできないか」というありがたいご相談をいただきました。

そして、今まで進学支援プロジェクトでもお世話になっている杉並学園の麻生信也施設長にアドバイスをいただいたり、GS社の持田昌典社長と上田彰子取締役ともオンライン会議で何度か打合せをさせていただき、全国の児童養護施設が退所生に支援を届ける『アウトリーチ・プロジェクト』が企画されたのです。2020年11月現在までに、全国187か所の施設にご協力いただき、2,509名の退所生を支援しています。

なかなか新型コロナが収まらず、退所生を取り巻く状況はますます厳しくなっています。本プロジェクトの取り組みについて関係者の皆様にご報告させていただき、ぜひ、退所生への緊急時および平常時のアフターケアについて一緒に考えていただければ幸いです。

文末になりましたが、ご協力いただきました全国児童養護施設協議会、NPO法人 NPO STARS、児童養護施設の皆様、また、アンケートやヒヤリング調査に協力してくださった1,871名の退所生の皆様、そして、本報告書の作成にご尽力いただいた法政大学の岩田美香教授に心よりお礼申し上げます。

2020年12月吉日

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会  
東京ボランティア・市民活動センター

## 団 体 紹 介

### 1. 主催：東京ボランティア・市民活動センター（TVAC）

東京ボランティア・市民活動センターは市民による営利を目的としない社会貢献活動を推進・支援するために1981年に設立され、社会福祉法人 東京都社会福祉協議会が運営している。ボランティアやNPOの支援、企業の社会貢献活動や災害時のボランティア活動などに力を入れている。ゴールドマン・サックスとは、2011年より「ゴールドマン・サックス・コミュニティ支援プログラム」を実施し、児童福祉施設の子どもたちの大学進学支援に取り組み、これがモデルとなり、行政や大学、民間企業の奨学金制度が生まれていった。

### 2. 資金提供：ゴールドマン・サックス（GS）

ゴールドマン・サックスは、投資銀行業務、証券業務および投資運用業務を中心に、企業、金融機関、政府機関、個人など多岐にわたるお客様を対象に幅広い金融サービスを提供している世界有数の金融機関。1869年に創業、ニューヨークを本拠地として、世界の主要な金融市場に拠点を擁している。新型コロナウイルス対応に直接関与する団体の活動に対して世界規模で助成を行うため、2,500万ドル規模のCOVID-19支援基金を立ち上げた。

### 3. 協力：全国児童養護施設連絡協議会（全養協）

全国児童養護施設協議会は、全国607か所の児童養護施設のネットワーク組織として、児童養護事業の発展と向上をめざし、児童福祉を推進するために全国的な連絡調整や事業に関する調査・研究等を行うことを目的としている。社会福祉法人 全国社会福祉協議会に事務局がある。

### 4. 協力：NPO法人 NPO STARS

NPO STARSは全国にある児童養護施設や乳児院、母子生活支援施設などの社会的養護関連施設で働く職員たちが会員となり、公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団主催の児童福祉海外研修によって得た、海外の児童福祉（社会的養護家庭的養護）に関する様々な最新情報や、会員それぞれの所属する児童福祉施設現場での日々の実践から得た知識や技術を基に、子ども達のより良い育ちと児童福祉施設職員の専門性の向上に貢献するツール等の開発を行っている。

## 報告書の発行に寄せて

ゴールドマン・サックスでは、子どもの貧困問題を重要な社会課題と位置付け、15年ほど前から様々な支援を通じてこの問題解決に取り組んでいます。

特に2020年は新型コロナウイルスの影響により、貧困家庭やその子どもたちは金銭的・精神的に厳しい状況に置かれており、様々な形での迅速な支援が求められました。そこで私たちはコロナ禍に苦しむ子どもたちを助けるため、4つのプログラムを立ち上げました。そのうちのひとつが児童養護施設の退所生に支援を届ける「アウトリーチ・プロジェクト」でした。このプロジェクトは単に退所生に物資を送るためだけのものではありません。彼らや彼女たちの現状を把握し、施設との「つながり」を再構築するきっかけを作るためのものでもあります。

コロナ禍でアルバイトや仕事がなくなるなど、アンケート結果からも退所生の生活が厳しい状況に置かれていることは明白です。人と人が直接つながりにくい状況だからこそ、このプロジェクトが全国の児童養護施設の職員と退所生の絆を強めるものになってくれればと心より願っております。

最後になりましたが、今回のプロジェクトの実行に際して多大なるご尽力をいただいた東京ボランティア・市民活動センターの皆様にお礼を申し上げます。

ゴールドマン・サックス証券株式会社

取締役 上田 彰子